

市民体育館の雨漏りについて

建設部

1 経緯

市民体育館の主体育室の雨漏りについては、昨年度の天井改修工事の際に、室内の仮設足場を利用し調査した結果、南側の天窓及び北側の連続窓から雨漏りしていることが確認された。

そのため、南側の天窓については、老朽化した窓を撤去し外側から鋼板で覆い、北側の連続窓については、開閉窓を固定窓にすることで防水性を高める補修工事を行った。

しかしながら、今年度に入って、補修工事を行った以外の個所からの雨漏りが発生した。原因の一つとしては、屋根の鋼板を繋ぐビス付近から漏水し、天井の鉄骨を伝わって床面に落下している状況であり、屋根全体の老朽化によるものである。

2 雨漏り防止対策

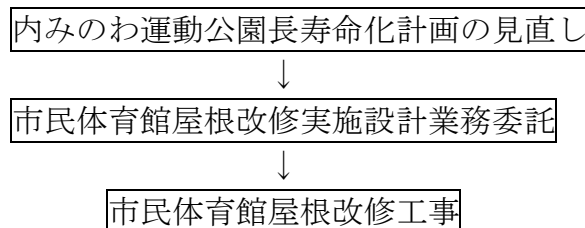
当面の対策としては、屋根の外側からのシール材注入や天井の鉄骨に吸水材を設置することによって水滴が落下しない暫定処置を講じている。

しかしながら、長雨時や暴風雨時には、雨水が床面に落下している状況である。

3 今後の対応

屋根全体の劣化が激しいことから、部分的なシール補修でなく、屋根全体の改修工事が必要である。

(今後の進め方)



屋根南側天窓

補修前



補修後

